

## 「クリスマス、おめでとう」

2020年12月25日

クリスマス、おめでとうございます。主イエスのご降誕を祝うクリスマスは、教会にとって、何より喜ばしい時である。クリスマスを迎えると、私は牧師になろうと、必死の思いで洗礼を受けた日のことを思い出す。聖書との出会いは、私の新しい人生への出発であった。自分を受け入れることができず、また、社会に対しても意味を見出すことができず、虚無的な思いに心がふさぎ込んでいた時、聖書が解き明かす神と主イエスに現わされた愛を知らされ、これを信じることができれば、生きられると思った。熱心に求道し、主イエスの十字架に罪の赦しを受け、私は生きてよいという、神からの「是認」の福音を聞いた。それは、大きな喜びとなり、生きていく勇氣と希望を見出し、この喜びを伝える牧師になりたいと思った。それで、洗礼を受ける決心をした。高校3年生の時であった。丸坊主の頭に冷たい水をかけられた受洗は、私の新生であった。幾多の挫折があったが、洗礼を受けた時の喜びが、いつも私を支えてくれた。メリークリスマスである。

今年のクリスマスは、私たちが通っている横浜本郷台教会では、クリスマス礼拝は例年通りであったが、祝会はケーキとペットボトルの紅茶で、短い時間で閉じられた。イブ礼拝は中止された。家族が集まって祝う家庭クリスマスも止め、寂しいクリスマスであった。もちろん、新型コロナの感染を警戒してのことである。今年の春頃から始まったコロナ禍は日本では第一波、第二波、第三波と押し寄せ、世界では、23日現在、感染者が7,807万人に達し、死者は171万人を超えた。驚異的な数の感染者と死者を出し、収まりそうにない。ワクチンが開発され、一刻も早い終息が望まれている。今後、発生過程と感染経路が解明されていくと思われるが、人間の科学が自然界に介入し過ぎたことに起因するらしい。新自由主義という経済最優先の思想が、自然から手痛いしっぺ返しを受けたと言えるのではないか。そしてコロナ禍は、今まで作り上げてきた人間の社会がいかに脆弱であったかを露呈し、社会的弱者に多くの犠牲を負わせている。感染は人と人との交流で加速するので、交流を避ける政策が求められた。しかし、それは経済活動を停止させることになる。感染防止のブレーキと経済を活性化させるアクセルをどのように踏み分けるかに関心が集まった。現在、個人の努力による感染防止策では歯止めがかからず、Go To トラベルは中止になった。当然であろう。観光、飲食関係の業者、それらを支える諸事業者は経済的に悲鳴をあげている。雨宮処凛氏は新聞や雑誌で、非正規労働者で職を失った人々、殊に女性たち、また、ホームレスや外国人で職も食べ物も手に入らない人々の現状を報告している。彼らは桁が違うほど、途方に暮れている。

世界で最も感染者、死者を出している米国の実情がコロナ禍を如実に表している。コロナは人を差別しないが、感染するのは貧しい人々が多く、彼らは健康保険に入っておらず、病院にも行かれない。死者は32万人にも達し、第二次世界大戦の米兵の戦死者は29万人くらいだから、それをはるかに超えている。悲しみは全米を覆い、人的損害は計り知れない。貧富の格差が犠牲の大小を決める。「自己責任」を問う米国社会の非情さを痛感する。

安全が保障されたワクチンが世界中に行き届き、コロナの終息をただ願う。しばらくの間、コロナの脅威に曝されることは避けられないだろう。新型コロナを乗り切った後の世界に関心が向けられているが、株価は上昇し、持てる者だけが太り続ける現実には啞然とする。

主イエスは、人々から排除された家畜小屋で誕生された。病苦、生活苦で嘆きの中にある人々に、神が共におられるクリスマスの恵みと祝福があるように祈る。